

中学部 校内実習を終えて

中学部2年2組 A

ぼくは、家庭生活班で、新製品「ティッシュケース」製作を行いました。

態度面では「長い時間集中して取り組む」、作業面では「布の線引きや

ミシンがけを曲がらないように丁寧にを行う」ことを目標にして、毎日確認しながら作業に取り組みました。ティッシュケース製作では、たくさんの工程があり、すべて覚えるのは大変でしたが、繰り返し練習をして、一人でできる工程が増えました。特に頑張ったことは、ミシンがけです。線の通り曲がらないように丁寧に縫うことを心がけました。

難しかったことは、布を切ることでした。型の通りにはさみで切ることは、しっかり布を押さえないとうまく切れないので苦労しました。でも、実習でたくさん作っていくうちに、きれいに仕上げることができるようになりました。来年の実習も、しっかり頑張って取り組みたいと思います。



中学部3年1組 S

わたしは、木工班で実習をしました。キッチングッズや花台を作りました。

わたしの目標は、あいさつ・返事・報告をすることと、指示を聞いて正確に

取り組むことでした。「できました」「見てください」と報告することができました。やすりがけがう

まくできました。友達と協力して作りました。道具の準備や片付けを自分ですることができました。

販売会では、花台がたくさん売れてうれしかったです。

これからも作業学習をがんばりたいです。



中学部作業学習の木工班と家庭生活班は11月6日(月)から11月17日(金)まで、10日間の校内実習を行いました。いつも生活している学級から離れての校内実習でしたが、将来働く力を身に付けるために「休まずに長い時間取り組むこと」「丁寧な言葉遣いを含めしっかりとした挨拶・返事・報告をすること」「準備・作業活動・片付けの一連の活動に自分から取り組むこと」「集中して丁寧な製品を作るように努力すること」を生徒一人一人が意識して、目標をもって作業に取り組むことができました。

木工班は花台、キッチングッズ、ブックスタンドの材料のやすり掛けや塗装、組み立てを行い、家庭生活班はコースターやティッシュケースをミシンを用いての製作に取り組みました。今年度は、対面販売が実施されるということで、各作業班で接客マナー、チラシ作り等の販売会に向けた準備も行いました。

作業班の仲間たちと一緒に長い期間の作業に取り組んだことによって、仕事に対する達成感や自分の新たな課題に気付くことができたと思います。校内実習で得た経験を、作業学習やこれからの生活に生かせるよう今後も継続して支援をしていきたいと思っています。

中学部2年1組担任

高等部 後期現場実習を終えて

高等部2年3組 T

私は、就労継続支援事業所 B 型のあおばで実習を行いました。実習前に目標を考え、実習に臨みました。

その中から今回の実習で達成できたことは、働く人と話をするということです。利用されている方と、昼食や休憩中に会話をすることができました。とても緊張しましたが、働く人とのコミュニケーションは社会人としてとても大切なことなので、次の実習でも意識しながら取り組んでいきたいです。

また、実習の反省会で課題を教えてくださいました。仕事を抱えてしまった時に、期日までに仕事を終わらせることが難しい際には、自分から相談することも必要だと知ることができました。課題解決をするために、学級の友達と一緒に考え、自分から仕事の締め切りを聞いた
り、早めに相談したりすることが大切だということ
を考えることができました。今回の実習で学んだこ
とや、課題を今後の学校生活の中で生かしてい
きたいです。とても充実した実習となりました。



3年生にとっての後期現場実習は、進路を決める重要な実習となりました。これまでに取り組んだ現場実習の振り返りを基に、目標を立てて臨んだ生徒も多かったように思います。私が担任する5組の生徒たちは、自分の気持ちや考えを伝える、休まずに通う、自分なりに退勤時間までの時間を過ごすなど、それぞれの目標をもって現場実習に臨みました。結果としてはそれぞれが目標を達成することができました。しかし、新たな課題も見つかった現場実習となりました。どの生徒にとっても自分の気持ちや考えを相手に伝える手段をもつことは共通の課題でした。

最後に、卒業まで残り少ない学校生活となりましたが、自分らしく卒業後の生活が楽しめるように、サポートしていきます。実習中の送迎や打ち合わせ、反省会など保護者の皆様には大変お世話になりました。おかげさまで生徒たちにとってはとても有意義な現場実習となりました。ありがとうございました。

高等部3年5組担任

高等部3年I組 S

私は、福島県立医科大学で10日間の現場実習をさせていただきました。今回は同じ場所で二度目の実習となりましたが、トイレ清掃、ダスタークロスがけ、床のモップがけ、掃除機がけ、階段掃き、ごみ回収、除菌の仕事をを行いました。仕事面では、指導員さんからアドバイスされた内容、それ以外で大切だと思った内容について、仕事の手順のメモを取りました。仕事の手順が分からない時にメモ帳を見て仕事を覚えることを頑張りました。また対人面では、自分からコミュニケーションをとることを意識して仕事に取り組みました。実習中は働く時間が短いのですが、社会人になると長時間働くようになるので、「最後まで働き続ける体力」が今後の自分に必要なことだと思いました。体力を継続して維持できるよう、朝のトレーニングで一定のペースで3~4週走ることを卒業までに続けていきたいと思います。

卒業までの学校生活は残りわずかです。周囲から頼られる社会人になれるよう、チームワークを大切にしながら職場の人と協力して働いていきたいと思います。これからも身近な方々の支えに感謝し、体調管理に気を付け、就職に向けた面接練習に力を入れていきたいと思います。



3年生最後の現場実習が終わりました。本学級は、同じ実習先で2度目または3度目の実習している生徒がほとんどです。事前学習では、実習評価表にある「挨拶・返事」「指示の理解」「協調性」などの観点をもとに自分の良さや課題について振り返り、課題を解決するための改善事項を具体的に自分で考えることができるようになってきました。生徒自身が働くために必要な力を自己理解することで、実習中も目的意識をもって取り組むことができました。

実習反省会では、卒業後の自分の働く姿をイメージし「学生生活と社会人として働く生活で違うことは何か」について話題になりました。平日の仕事に響かないよう休日にリフレッシュすることや、仕事の流れを把握し自分で考えて行動する習慣を学生のうちに身に付けておくことが大切だとアドバイスいただきました。また、職場での様子を帰宅後に家族内で話題にしたり、連絡ノートなどを通して事業所と家庭が共通理解を図ったりすることで、事業所と家族が協力して生徒本人を支援していくことの大切さについても再確認することができました。

卒業まであと三か月です。生徒たちが仕事をしていく上での強みや必要な支援が途切れないよう学校や家庭、企業や事業所と共通理解を図るとともに、生徒自身が自分の良さやサポートしてほしいことを相手に伝える力を高められるよう、支援していきたいと思います。

高等部3年I組担任